

経営比較分析表（令和6年度決算）

岡山県 岡山市

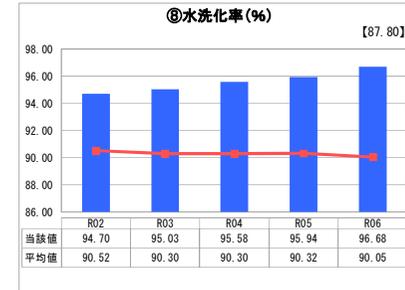
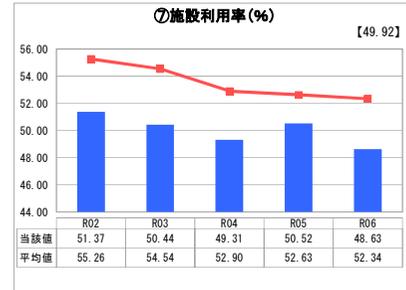
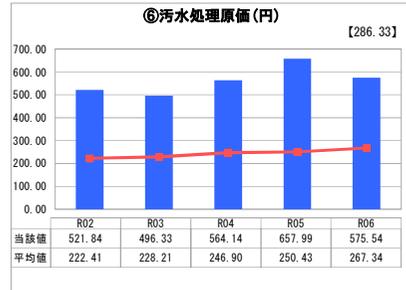
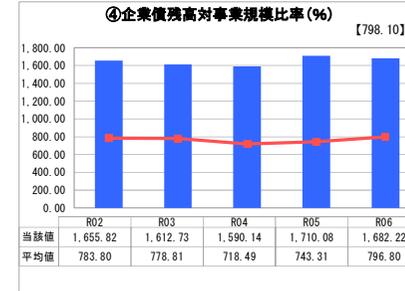
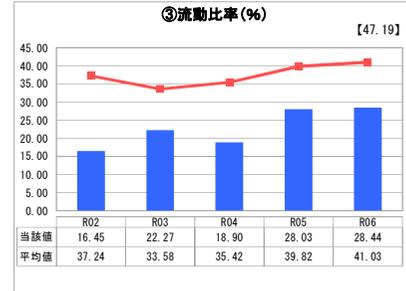
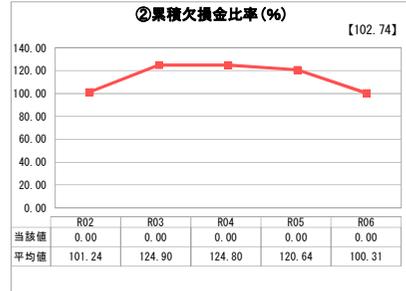
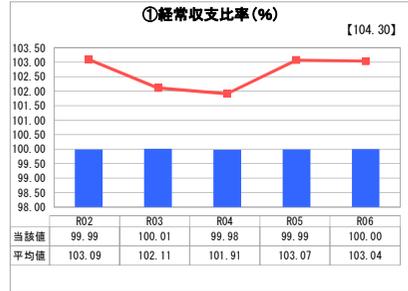
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	40.78	0.85	95.00	3,011

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
695,690	789.95	880.68
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,882	2.23	2,637.67

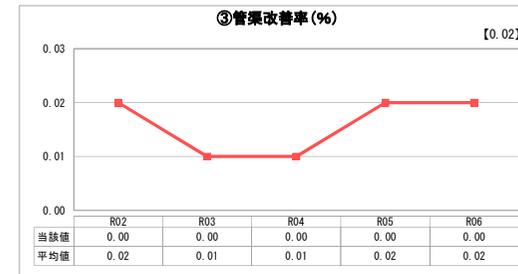
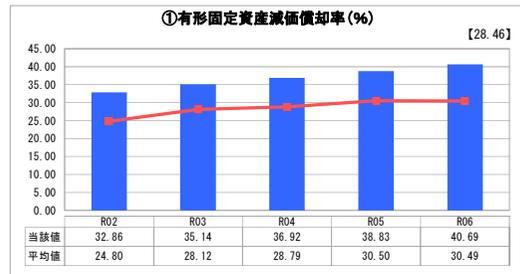
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

農業集落排水事業については、整備が終了していることから、水洗化率は高い。
一方で、処理施設が点在していることから、経営効率は特定環境保全公共下水道事業よりもさらに悪い。
各指標の特徴としては以下のとおり
①一般会計繰入金により赤字相当額を補てんしており、100%程度となっている。
②一般会計繰入金により赤字相当額を補てんしており、欠損金は生じていない。
③整備が終了しており、経費に占める償還元金の割合も減少してきているため、増加傾向にある。
④類似団体と比較して処理施設数が多いこと等により、高水準であるが、減少傾向にある。令和5年度は公共下水道への統合による影響により増加している。
⑤使用料対象としている額に対し、100%は賅っていない。
⑥資本費が高いこと(④)等により、高水準となっている。
⑦処理区域内人口の減少等により減少傾向にある。
⑧整備が終了していることから、高水準となっている。

2. 老朽化の状況について

本格的な整備時期が平成一桁以降と遅い上に、償却年数の短い設備が多い処理場が多いことから、近年、老朽化の指標のうち、有形固定資産減価償却率が類似団体平均を上回っている（本市は平成22年度より地方公営企業法を適用しており、①有形固定資産減価償却率(%)は法適用以降の減価償却累計で算出されるため、その点に留意する必要がある。）。
ただし、将来的には多額の更新需要が見込まれることから、長寿命化や改築更新費用の平準化を計画的に進める必要がある。

全体総括

持続可能な下水道事業の運営を図るため、平成27年度に策定した経営戦略（岡山市下水道事業経営計画2016）の中で目標数値を定め、PDCAサイクルにより経営改善を図ることとしている。
具体的には、継続促進による使用料収入の確保、施設の統廃合や施設管理の効率化等による支出の削減等により、経営改善を進めることとしている。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。